

社会福祉法人 ぶどうの木  
**平成26年度事業報告**

(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

## はじめに

1年の事業計画を作る時は、冒険を避け、事業であれ経済の見通しであれ、どうしても慎重にならざるをえません。結果として極めて用心深い平凡な表現しかできない場合が多くなります。26年度も概ねそういう姿勢でスタートしましたが、結果としては、意外にも大変劇的な要素に包まれ、泣いたり笑ったりという変化に富んだ経験をしました。結果として、図書館の歩んだ道を多くの皆様が支持してくださったお陰と再認識しました。

以下に特徴的な事業を取り上げます。

## 1. 順調にこなせたこと

### ロゴスの文化教室は入場者新記録

6月7日東京のニコラ・バレ修道院ホールで開催。テーマは「高山右近の霊性について」、講演者は溝部脩 前高松司教。参加者は約120名で、はじめて定員を超え、テーマと講師の組み合わせがマッチした感じでした。

### 「あけのほし」の泣き笑い

4月から雑誌「あけのほし」の発行媒体としてCD（デイジー版）を加えました。グンと売れ行きが伸びるかと思いきや3部ほど増えました。この「あけのほし」は昭和28年の創刊です。もう60年前の点字雑誌は色が黄色くなったり、用紙の端っこが乾燥してパラパラ落ちて崩れますので、平成19年から6年間、当館内で点字印刷された用紙をスキナーにかけてデジタル変換して、点字データとして保存することにしました。平成24年からは島根あさひ社会復帰センターにある受刑者が行う点訳翻訳作業実習担当者にデータ化作業をお願いしました。それが年度途中で完成しました。そこで当館では、そのご苦勞をねぎらう意味で、感謝状を同社会復帰センターにお送りしました。この感謝状は受刑者も面会者も感動してご覧になっていると聞いています。それにしても「あけのほし」が販売で100部を越えるのはいつのことでしょうか。

### 『聖書』点字版完成

ここ3年取り組んできたフランシスコ会聖書研究所訳注の『聖書』の点訳が27年3月に完成。全80巻（新約17巻、旧約63巻）の厚さになりました。販売と貸出しをはじめめています。多くの皆様のご支援と、ボランティアさんと職員の協力が実りました。

## チャリティ映画会の作品は「わが母の記」

約650人が鑑賞。10月9日、なかのZERO大ホールで開催しました。今回も切符売り、場内整理、誘導などたくさんのボランティアさんに助けられて無事に終わりました。27年度は土曜の午後で開催するつもりです。

## 高速点字プリンターなど必要機材を確保

12月から3月の年度末にかけて皆様から驚くほどのご寄附が集中し、数年来の懸案だった高速点字プリンター（約400万円）や点字印刷関係の機材を整えることができました。個人でご協力いただいた皆様、助成団体の昭和会館様、森村豊明会様、立川福祉基金様、東京都共同募金会様などから貴重なご支援をいただきました。

## 国政選挙で一息

12月の衆議院選挙はまったくの不意打ち解散でした。予想していなかっただけに、私たちばかりでなく、肝心の候補者、選挙管理委員会、各党本部などは公示ぎりぎりまで混乱したといわれます。私たちも驚きましたが、大過なく点字の選挙公報を視覚障害有権者にお届けでき、ほっとしました。

## 『図説 よくわかる障害者総合支援法』完成

年賀寄附金助成を受けて、『図説 よくわかる障害者総合支援法』という本を26年5月から1年がかりで点字版全5巻・CD（デイジー版）1枚で完成し、関係施設252施設に配布しました。事業名は「障害者福祉の現状理解と前進のための資料提供事業」となりました。障害者福祉の基礎となる法律の解説本ですので、かなり注目を集めました。図説の部分は点訳・音訳によって文章化してわかりやすくしました。配布の後、「研修会のテキストにする」といって、手元に置くから送って欲しいという注文が何件かありました。

## 2. 克服したい課題

### 定期出版物の崩れ

点字印刷物の発行が低下しているのは全国的な傾向ですが、当館でも1月からなだれ現象が起きました。まず1月号で「点字ドコモレター」約400部ちょっとが休刊通知、続いて3月に女子パウロ会発行の「あけぼの抜粋」約400部が、これまた休刊となりました。この二つの雑誌をあわせても約30万円止まりですが、これが月々なくなるのは厳しいものです。墨字で人気のある雑誌の点字版を出したいというような書店はないのでしょうか。

### 少し切ない点字の除籍本

年度末になりますと新しい本が書棚に揃う喜びと、長年書庫に眠っていて傷み出した古い本との差し替えが始まります。本来は多少黄色くなった本でも書架に残したいのですが、狭いところではそうはいきません。読みやすい点字で、カバーのしっかりした新刊本が書

棚に並び、変色して点字の傷みの激しい本は除籍となり、廃棄されます。黄色くなって裂かれる本が、何十年前の手打ちの本だと余計に気が退けます。今年の点字図書は56タイトル172冊が除籍されました。なにしろ狭いところなので、これだけはどうにもできません。

### 3. 感謝を込めて

#### 表彰

毎年、当館の上部団体では「全国盲人福祉施設大会」を各地の持ち回りで開催しています。26年度は福岡市で大会があり、席上、当館に長年作業ボランティアを続けてこられた4の方が奉仕者賞を受賞されました。本間小夜子、山本陽子、川島眞規、早乙女眞澄の皆さんです。福祉施設、特に点字図書館などはボランティアさんを抜きに語れないほど、その依存は重要そのものです。有り難いことと感謝しております。

#### 関点協

関東地区の点字図書館の職員の集まりを関点協（関東地区点字図書館協議会）と略して呼んでいます。会議は持ち回りで開かれます。春は水戸に集まり「図書館の蔵書資料の選定」というテーマで、点字図書館がどういう本を選ぶかについて話し合い、秋は桐生市で「点字図書館と地域の福祉施設との繋がり」がテーマに取り上げられました。当館からは毎回数名の職員が参加しています。ささやかな集まりですが、違う現場の図書館員が集まり、互いに共通する体験の輪が広がってきて、とても勉強になりました。

#### 様々な勉強会

全国で90館を超える点字図書館が活動しています。いろんな企画を立てて、お互いに勉強しあっています。視覚障害の人が情報機器を使えるように「情報機器等の支援者講習会」、「点字指導員認定講習会」の開催、普通学校や盲学校にいる生徒のために教科書づくりを支援する連絡会も張り切っています。全国の点字図書館が加盟しているサピエ図書館の勉強会など、動き出したら止まらない自動車のように先端技術は進んでいきます。

#### ロゴスでの勉強会

当館では点訳・音訳作業に直接関わってくださるボランティアさんを対象に、月1回ずつ点訳勉強会、音訳勉強会、音訳校正勉強会を開いています。これをやらないと、みんな遅れてしまいます。例えば、点字は読みの問題と文の区切りとなるマスあけが問題です。音訳は発声、間の取り方、発音、写真や絵図の処理などを学びます。随時対応できるよう、点訳、音訳共に新しいボランティア養成のための講習会を準備しています。

#### 中途失明者のための点字教室

平成23年の6月から始まり4年になります。講師の先生も中途失明の方なので、3人の生徒さんとは息が合うようです。皆さん高齢の方ですが、月2回、一人1時間30分講

義と実習を行います。ちょっと教える先生が心配になると思いますが、マイペースでお元気なので安心です。この事業も多くの皆様に支えられてのことと、感謝しています。

## 4. 細かな規程への挑戦

### 給与規程改定へ

事業所や会社には職員の給料を上げる給与規程があり、働いて1年経つと、基本給をこれだけ上げるといふ俸給表に基づいて給料が決められていきます。当法人は発足のとき、その基準がなかったので、他施設の給与規程を真似て作ったものの、東京都の補助金以外には固定した収入がなかったので、その年度の収支を見ながら給料を決めていました。しかし、このやり方にも限界があり、続けられないことになりました。そこで法人の二人の監事と会計事務所に、基本給をほどほどに押さえ、これまでと同じような給料を保証するための手当を作り、職員が不利にならないようなバランスを取ってもらいました。理事会では一部訂正されましたが、承認されました。

### 定款施行細則を作成

定款は会社や法人の目的、組織、業務などに関する基本的な規則です。更にこの規則を具体的に運用するための細かな手順や範囲などを記したものが必要ですが、それを定款細則といいます。当法人では平成20年頃、理事会・評議員会で議論したことがありましたが、その後途切れていました。昨年秋、江東区福祉課の監査を受け、その不備を指摘されて作り直しました。理事長に何かあれば誰が代行するか、議事録に書くべき事項、理事長の専決事項など細かく決めて記さなければなりません。理事・評議員会では、江東区と相談しながら作っていくという方向が出ました。

## 5. 平成26年度蔵書製作数

### 蔵書数

	点字図書		テープ図書		CD図書	
	タイトル数	冊数	タイトル数	巻数	タイトル数	枚数
総蔵書数	2,392	7,944	4,979	27,450	2,780	2,825
今年度受入数	65	176	42	293	102	103
自館製作	55	133	39	242	101	102
他館製作	0	0	0	0	0	0
寄贈	10	43	3	51	1	1
今年度除籍数	56	172	2	25	3	3

〈参考〉CD図書総蔵書数内訳

デジタル図書		一般CD図書	
タイトル数	枚数	タイトル数	枚数
2,715	2,725	65	100

(注) テキストデジターはデジター図書に含める。

資料の貸出

	点字図書		テープ図書		CD図書	
	タイトル数	冊数	タイトル数	巻数	タイトル数	枚数
総貸出数	181	523	1,119	7,014	2,395	2,528
個人への貸出	72	190	254	1,337	662	696
他館への貸出	64	180	427	2,615	898	963
他館より借受貸出	45	153	438	3,062	835	869

分類別貸出数

	点字図書		テープ図書		CD図書	
	タイトル数	冊数	タイトル数	巻数	タイトル数	枚数
0 総記	1	1	17	44	38	38
1 哲学	83	178	254	1,287	756	821
2 歴史	3	9	52	344	107	107
3 社会科学	11	31	40	243	177	179
4 自然科学	1	2	8	61	48	78
5 技術	1	2	6	20	11	11
6 産業	0	0	1	6	19	43
7 芸術	2	8	16	62	141	152
8 言語	7	28	0	0	7	7
9 文学	59	229	681	4,812	1,033	1,034
J 児童図書	13	35	44	135	58	58
合計	181	523	1,119	7,014	2,395	2,528

サピエ登録・利用状況

点字データ

アップタイトル数	アップ冊数	ダウンタイトル数	ダウン冊数	ダウン延べ利用者
31	110	356	1,226	1,092

### デイジーデータ

アップタイトル数	アップ時間	再生タイトル数	再生時間	再生延べ利用者
154	1,446時間 40分	628	1,284時間 13分	3,489

ダウンタイトル数	ダウン時間	ダウン延べ利用者
806	6,693時間 37分	12,152

### オンラインリクエスト送受信件数

リクエスト送信数	内 訳		リクエスト受信数
	施 設	個人借受	
1,259回	1,257回	2回	1,269回

## 6. 基盤となる事業の開拓へ

先をはっきり読み込めない中、何かと大変でしたが、終わって見れば皆様のご厚意に支えられ、最後は安堵できた年でした。そのことを有り難く思います。

しかし、それで安心してよいというわけにはいきません。ベテランの点字校正担当職員が退職しました。あとの職員がすぐ見つかりましたのでほっとしましたが、仕事に早く慣れて頑張ってもらいたいと思います。

また、点字や録音の有料月刊誌を見つけることが今後の課題として残りましたが、これも粘り強く取り組んでいこうと考えます。財政の基盤作りです。皆様に喜んでいただけるようなご報告ができるよう頑張っていきます。よろしくお願ひ申し上げます。